

岐阜県理学療法士会 岐阜支部 学術研修会 開催報告

開催日時 2018年2月3日（土） 14:00～17:10

開催会場 岐阜大学医学部附属病院 医学部記念会館

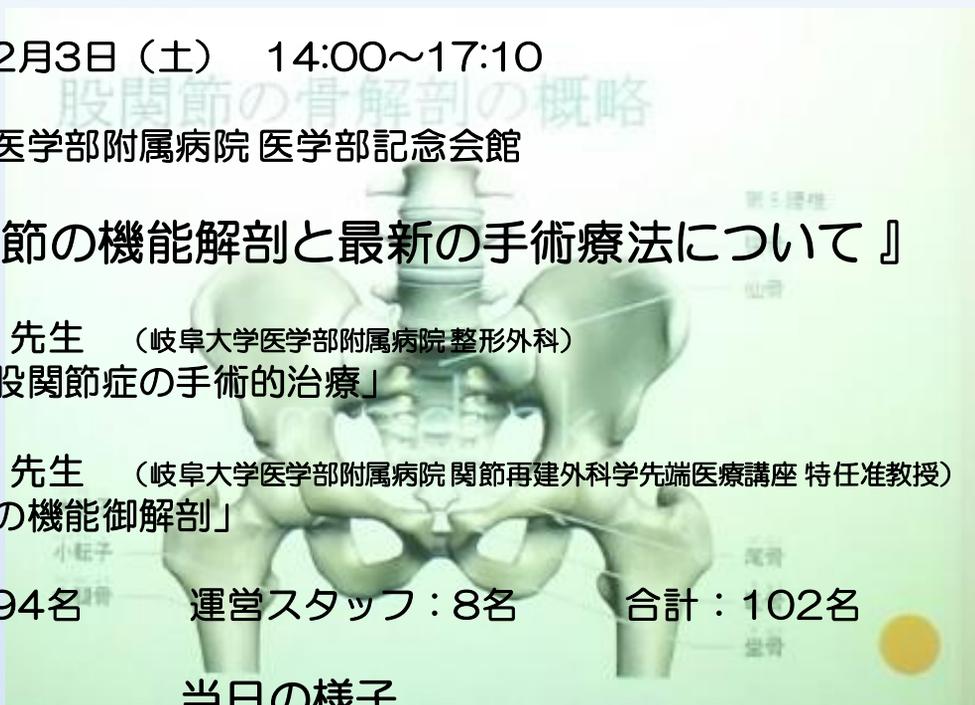
テーマ 『股関節の機能解剖と最新の手術療法について』

講師 宮川 貴樹 先生（岐阜大学医学部附属病院 整形外科）
「変形性股関節症の手術的治療」

青木 隆明 先生（岐阜大学医学部附属病院 関節再建外科学先端医療講座 特任准教授）
「股関節の機能御解剖」

参加人数 受講者：94名 運営スタッフ：8名 合計：102名

当日の様子



今回の研修会は股関節に焦点を絞り、2名の医師に講義をしていただきました。

参加人数は94名+スタッフ8名と過去最多の規模の研修会となりました。他県からの参加も多数みとめ、企画側としてはかなりうれしく思いました。

1つ目の宮川先生の講義では、股関節とは・・・から始まり、股関節の解剖・バイオメカニクス・変形性股関節症とは・THAを含む手術手技のお話を聞くことができました。基礎的な事からTHAの手術的な事まで幅広く、またPT向けに大変分かりやすく説明していただけたと感じます。さらに、現在のTHAに至るまでの歴史の話もしていただき、知らない事が多くとても興味でした。更に、医師目線にて、どのようにTHAを計画していくかという話まで聞いて、とても勉強になりました。

2つ目の青木先生の講義では、テーマが「股関節の機能解剖」という事で、股関節の解剖学を細かく分かりやすく講義していただきました。股関節の解剖だけではなく、骨盤や脊柱、膝関節との関連性や、物理療法などの話も聞けました。リハビリ医ということもあり、講義の内容の中にリハビリの治療のアドバイスなどのメッセージも入っており、大変勉強になったと感じます。

来年度も、今年度同様たくさんの方に参加していただけるような研修会の開催を目指し、テーマを考え、準備していきたいと思います。